



活用場面

- ◎ ほ場畔周り除草
- ◎ 枕地部分除草

◎ : 市販化(令和元年度)

導入効果とコスト					
除草作業時間の削減	↓	約20%以上	購入価格 ①	約100万円～	
※農業新技術カタログ(R元8.22 農林水産省)					
作業場所の条件に応じ、色々な性能を備えたタイプが各メーカーにて開発・市販化されている。(下記画像参照)					
				購入価格 ②	約330万円～
				購入価格 ③	約150万円～

技術開発の状況と課題

- 作業ほ場条件が平場地域と中山間地域で大きく異なるため、どの程度の傾斜条件まで安定作業が可能となるか複数メーカーにより試作機による改良がされています。
- 雑草の種類により、刈取作業方式を変更することが求められるため、複数メーカーによる刈り取り装置部分の改良が行われています。
- 大規模ほ場での作業は、高い作業性能が求められるため、連続可能作業時間と作業能率向上が求められます。2019年3月市販開始の機種は50分連続作業可能で、1時間当たり作業能力は492㎡となっています。

こんなことができます

- リモコンで作業操作するため、従来の背負い式刈払機に比べ夏場の作業で疲労感を大幅に軽減できます。
- 操作する人と草刈機は10m以上離れた状態で作業を行うため、小石等の飛散による農作業事故リスクが大きく低減できます。
- 一定傾斜のほ場でも作業可能で、コンパクト設計となっており軽トラックによる移動が可能です。
- 草刈り作業の軽労化・長時間の辛い姿勢による疲労を軽減します。



- ・機械重量は120kg程度であり一人で軽トラへの積降ろし可能。
- ・燃料タンクは1.1Lで、50分間の連続作業が可能。
- ・傾斜角度40°未滿なら法面等でも作業可能。

※画像等はクボタ農業関連商品カタログ(2019.9)

使いこなすためのポイントと留意点

- 使用に際し特段の手続きは不要です。
- ・取り扱い説明書を熟読します。
 - ・実際の作業に際しては、巻き込まれにくい服装、ヘルメット着用等基本的な準備を行います。
 - ・定期的メンテナンスを励行します。

一定傾斜のほ場でも草刈り作業可能です。

- ・傾斜40°以下の法面等までは草刈り作業が出来ます。
- ・作業者は、斜面では常に機械よりも上位の位置で操作を行います。
- ・機械横転の可能性もあるため、スピードやモード切替に注意します。

作業では、必ず定期的に休憩します。

- ・リモコンによる操作は、作業強度も軽く疲労感も少ないですが、指先での細やかな作業のため、手の疲労が蓄積しないよう休憩します。
- ・雨天の際は、特に斜面ではスリップの危険が高まり視界も不良となります。出来るだけ条件の良い場所でのみ作業を行います。

【他の機械との比較】 ※数値は大凡の目安です

利用機械	一定面積作業時間
背負式刈払機	100%
リモコン式自動草刈機	約80%



※画像等は(株)アテックス製品情報(2019.4)



※画像等は三陽機器(株)製品情報(2019.4)